

2025年6月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年2月10日

上場会社名 KeePer 技研株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 6036 URL https://keepergiken.co.jp
 代表者（役職名） 代表取締役社長兼Co-COO（氏名） 賀来 聡介
 問合せ先責任者（役職名） 常務取締役兼CFO（氏名） 山下 文子 (TEL) 0562-45-5777
 半期報告書提出予定日 2025年2月10日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年6月期第2四半期（中間期）の業績（2024年7月1日～2024年12月31日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期中間期	12,098	13.0	4,031	21.4	4,012	20.7	2,747	21.4
2024年6月期中間期	10,702	24.9	3,320	10.1	3,324	9.3	2,263	8.4
	1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益					
	円 銭		円 銭					
2025年6月期中間期	100.66		—					
2024年6月期中間期	82.95		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年6月期中間期	20,706	15,841	76.5
2024年6月期	19,284	14,466	75.0

(参考) 自己資本 2025年6月期中間期 15,841百万円 2024年6月期 14,466百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2025年6月期	—	0.00			
2025年6月期(予想)			—	53.00	53.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年6月期の業績予想（2024年7月1日～2025年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,500	19.1	7,000	14.7	6,950	14.4	4,800	8.6	175.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年6月期中間期	28,280,840株	2024年6月期	28,280,840株
-------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2025年6月期中間期	989,578株	2024年6月期	989,024株
-------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（中間期）

2025年6月期中間期	27,291,535株	2024年6月期中間期	27,283,523株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において、当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき策定したものであり、実際の業績等は様々な要因により予測数値より大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）P5「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 中間財務諸表及び主な注記	6
(1) 中間貸借対照表	6
(2) 中間損益計算書	8
(3) 中間キャッシュフロー計算書	9
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(キャッシュフローに関する注記)	10
(表示方法の変更)	10
(セグメント情報等)	11
(収益認識関係)	12
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間(2024年7月1日から2024年12月31日)における我が国の経済は、雇用・所得状況の改善やインバウンド需要の増加といった明るい材料が見られる一方で、円安基調の継続によるエネルギー価格や原材料価格の上昇、アメリカの政策動向、中東地域をめぐる情勢などの影響により、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社ではユーザーに提供されるKeerPerコーティングの品質の維持・向上を従来以上に実現していくことが、当面の業績を向上させるだけでなく、将来に向けての発展を目指したKeerPerブランドのブランディングを確実にしていくために最も重要であると考えています。

2025年6月期 中間会計期間実績

当中間会計期間におきましては、売上高は120億98百万円(前年同期比13.0%増加)、営業利益は40億31百万円(同21.4%増加)、経常利益は40億12百万円(同20.7%増加)、純利益は27億47百万円(同21.4%増加)となりました。事業分野別の状況は次のとおりです。

キーパーLABO運営事業

キーパーLABO運営事業の売上高は66億15百万円(前年同期比12.8%増加)、セグメント利益は16億81百万円(同22.4%増加)と増収増益で過去最高益となりました。

KeerPerの需要は右肩上がりでも推移しており、コーティングと洗車事業の最大の需要期である12月には、キーパーLABO直営全127店舗(シンガポール店を除く)の売上が前年比15.2%増の16億17百万円に達し、1店舗あたりでは1,278万円/月を記録するなど、過去最高の実績を大幅に更新しました。

このようにキーパーLABOに対する需要の拡大が続く中、当社は直営事業として積極的に店舗拡大を進めてきました。しかし、新店開発・出店の進捗が需要に追い付かず、このままでは大きな機会損失になりかねないと判断しました。そこで、品質の面で信頼が出来るKeerPerのパートナー企業に声をかけ、高品質なフランチャイズ店舗の積極的な展開を決定しました。

2024年8月の出光興産株式会社との業務提携を皮切りに、2024年11月からフランチャイズ募集を開始したところ、多くの企業から申し入れがありました。キーパーLABOは本質的にサービス業であり、ガソリンスタンドや自動車販売店といった物販のビジネスとは大きく異なる部分があります。そのため、申込企業にはこの違いを十分に理解していただいた上で、フランチャイズ展開を進めております。

新店の開発状況

開店済み

店舗名	所在地	オープン日	ラボ累計店舗数 ()内：直営店
シンガポール店	シンガポール	2024年8月1日	134 (121)
神戸岡場店	兵庫県神戸市	2024年8月28日	135 (122)
堺鳳店	大阪府堺市西区	2024年8月31日	136 (123)
広島観音店	広島県広島市西区	2024年9月20日	137 (124)
品川店	東京都品川区	2024年9月28日	138 (125)
黒川店	愛知県名古屋市	2024年10月9日	139 (126)
神戸垂水店(FC)	兵庫県神戸市	2024年11月8日	140
金沢西泉店	石川県金沢市	2024年11月14日	141 (127)
豊田土橋店	愛知県豊田市	2024年11月27日	142 (128)
野並店(FC)	愛知県名古屋市	2024年12月18日	143

2024年12月末時点でのキーパーラボ店舗数は、直営128店舗、FC15店舗、143店舗となりました。

今後の開店予定

店舗名 (仮称)	所在地	オープン予定日	ラボ累計店舗数 ()内：直営店
長崎時津店 (FC)	長崎県西彼杵郡	2025年2月1日	144
戸塚原宿店	神奈川県横浜市	2025年2月19日	145 (129)
横浜あざみ野店 (FC)	神奈川県横浜市	2025年2月26日	146
宇都宮鶴田店 (FC)	栃木県宇都宮市	2025年3月16日	147
仙台宮城野店	宮城県仙台市	2025年3月	148 (130)
青森店 (FC)	青森県青森市	2025年4月	149
藤沢湘南台店 (FC)	神奈川県藤沢市	2025年4月	150
佐野店	栃木県佐野市	2025年4月	151 (131)
稲沢店	愛知県稲沢市	2025年4月	152 (132)
芦屋店	兵庫県芦屋市	2025年4月	153 (133)
藤枝店	静岡県藤枝市	2025年5月	154 (134)
京都右京店	京都府右京区	2025年5月	155 (135)
大和店 (FC)	神奈川県大和市	2025年5月	156
盛岡店 (FC)	岩手県盛岡市	2025年5月	157
名取店	宮城県名取市	2025年6月	158 (136)
王子店	東京都北区	2025年6月	159 (137)
国分寺店 (FC)	東京都国分寺市	2025年6月	160
岡崎針崎店	愛知県岡崎市	2025年6月	161 (138)
松本店	長野県松本市	2025年6月	162 (139)
札幌西店	北海道札幌市	2025年6月	163 (140)
つくば店 (FC)	茨城県つくば市	2025年6月	164

今期の新規出店は、直営店舗およびフランチャイズ店舗を合わせて31店舗を予定しており、現在のところ計画通りに進捗しております。2025年6月末時点でのキーパーラボ店舗数は、直営140店舗、フランチャイズ24店舗、合計164店舗を予定しております。

コーティング施工台数

コーティングの施工台数については、SNS上で人気があるEXキーパーの施工台数7,234台（前年比16.8%増）と好調を維持しております。ダイヤモンドキーパーシリーズの施工台数は、新車販売台数の減少の影響もあり、27,799台、（前年比2.0%増）にとどまりました。

同じ耐久期間であるフレッシュキーパー、クリスタルキーパーは48,727台（同7.3%増）となりました。また、各キーパーコーティングメンテナンスの施工台数は前年比15.5%増と大きく伸長しており、車齢の上昇に伴い「今乗っている車をキレイに長く乗りたい」という需要も引き続き高まっています。

その結果、当中間会計期間において総来店台数は387,180（前年比7.3%増）、平均単価は17,130円（前年比3.8%増）となりました。

また、2024年9月26日より運用を開始した『予約簡略化アプリ』のダウンロード数は、4ヶ月間で約51,000件に達しています。現在、更なる利便性向上に向けたバージョンアップを構築中です。

キーパー製品等関連事業

キーパー製品等関連事業の売上高は54億83百万円(前年同期比13.3%増加)、セグメント利益は23億50百万円(同20.8%増)と増収増益になりました。

キーパー製品等関連事業の売上構成比

	24年6月期		25年6月期		前年比
	上期	構成比	上期	構成比	
製品売上	4,840		5,483		+13.3%
アフターマーケット	3,496	72.2%	3,559	64.9%	+1.8%
新車マーケット	1,151	23.8%	1,521	27.7%	+32.1%
海外	31	0.7%	51	0.9%	+61.6%
車以外	162	3.4%	353	6.4%	+117.3%

アフターマーケットの動向

ガソリンスタンドを中心とした「アフターマーケット」では、前年同期比1.8%増と小幅な伸びにとどまりました。フレッシュキーパーを中心に大きく実績が伸びている店舗も多数ある一方で、人員不足からコーティングや洗車サービスの提供が困難となる店舗や、1日の施工台数を制限する店舗も出始めています。この傾向は今後も続く予想されますが、キーパーLABO事業と同様に「車をキレイに長く乗りたい」というお客様のニーズは依然と高い状況です。この需要に対応するため、自動車販売会社などが販売後のアフターサービス商品としてコーティングメンテナンスや高付加価値洗車を導入するケースが増加しており、KeePerの導入企業も着実に拡大しています。

新車マーケットの成長

新車ディーラーを中心とした「新車マーケット」では、前年同期比32.1%増と大きく成長し、製品等関連事業売上の構成比も前期の23.8%から27.7%へと伸長しました。

新車納車時のコーティング付帯率は全方向で着実に伸びており、さらに購入から3年、5年後の再施工や、コーティングメンテナンスを取り入れる店舗も増加しております。この流れを裏付けるように、以下の既販車・中古車向けボディコーティングとしてKeePerコーティングが採用されています。

- ・2024年3月 株式会社ホンダアクセスより、「フレッシュキーパー」発売開始
- ・2024年9月 スズキ株式会社より「ダイヤモンドキーパー」発売開始
- ・2024年11月 スバル用品株式会社より、「SUBARU フレッシュキーパー」発売開始

KeePerが最も得意とする分野であり、単なるコーティング施工にとどまらず、お客様の車を長期間キレイに乗り続けられるカーライフを着実に提供してまいります。

車以外のサービスの拡大

「車以外のサービス」も前年同期比117.3%増と大きく成長しています。auブランドを展開するKDDI株式会社より、モバイル端末用KeePerコーティング「Mobile KeePer(モバイルキーパー)」が大量に納入されており、モバイル端末とKeePerの相性の良さが評価されています。今後の事業拡大にも大きな期待を寄せております。

海外事業の進展

「海外事業」も前年同期比61.6%増と着実に伸びてきております。2024年8月1日にはシンガポールにて「KeePer LABO」が初の海外進出を果たし、初店舗を開設しました。さらに、香港、台湾、韓国における「KeePer PROSHOP」でも店舗拡大が進んでおり、グローバルな事業基盤の強化に取り組んでいます。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当中間会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ14億21百万円増加し、207億6百万円となりました。これは主として、現金及び預金が7億17百万円減少、売掛金が9億83百万円増加、商品及び貯蔵品が87百万円増加、有形固定資産が7億20百万円増加したこと等によるものです。

(負債)

当中間会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ47百万円増加し、48億65百万円となりました。これは主として、流動負債が23百万円減少、固定負債が70百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当中間会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ13億74百万円増加し、158億41百万円となりました。これは主として、利益剰余金が中間純利益により27億47百万円増加した一方で、配当により13億64百万円減少したこと等によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年6月期の業績予想につきましては、2024年8月9日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年6月30日)	当中間会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,137,452	4,419,723
受取手形	193,628	193,242
売掛金	1,637,166	2,620,730
商品	1,120,808	1,186,054
貯蔵品	123,979	145,839
前払費用	254,301	145,308
その他	121,977	208,587
貸倒引当金	△180	△309
流動資産合計	8,589,133	8,919,176
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	5,573,389	6,194,235
構築物(純額)	319,749	325,736
機械及び装置(純額)	44,351	40,417
車両運搬具(純額)	39,933	45,863
工具、器具及び備品(純額)	233,398	250,196
土地	2,016,836	2,016,836
リース資産	295,013	313,909
建設仮勘定	78,793	134,443
有形固定資産合計	8,601,463	9,321,638
無形固定資産		
ソフトウェア	66,133	112,269
その他	77,067	47,236
無形固定資産合計	143,201	159,506
投資その他の資産		
投資有価証券	22,237	21,980
関係会社株式	70,339	70,339
長期前払費用	44,430	43,545
敷金及び保証金	599,705	625,361
建設協力金	295,013	313,909
保険積立金	11,460	11,460
繰延税金資産	445,076	486,024
その他	462,469	733,549
投資その他の資産合計	1,950,732	2,306,171
固定資産合計	10,695,397	11,787,315
資産合計	19,284,531	20,706,492

(単位:千円)

	前事業年度 (2024年6月30日)	当中間会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	729,482	451,674
1年内返済予定の長期借入金	48,000	48,000
未払金	682,512	447,346
未払法人税等	1,008,874	1,397,400
未払費用	355,059	365,388
リース債務	22,242	25,294
賞与引当金	70,479	73,411
契約負債	277,011	328,198
その他	161,438	194,997
流動負債合計	3,355,100	3,331,711
固定負債		
長期借入金	64,000	40,000
退職給付引当金	493,793	535,375
役員退職慰労引当金	288,243	288,465
リース債務	272,770	288,615
資産除去債務	339,767	369,518
その他	4,043	11,387
固定負債合計	1,462,617	1,533,362
負債合計	4,817,718	4,865,074
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,347,557	1,347,557
資本剰余金	1,049,019	1,049,019
利益剰余金	14,231,454	15,606,638
自己株式	△2,164,590	△2,164,825
株主資本合計	14,463,440	15,838,389
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,371	3,028
評価・換算差額等合計	3,371	3,028
純資産合計	14,466,812	15,841,418
負債純資産合計	19,284,531	20,706,492

(2) 中間損益計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
売上高	10,702,438	12,098,531
売上原価	4,870,706	5,484,832
売上総利益	5,831,731	6,613,699
販売費及び一般管理費	2,511,343	2,581,971
営業利益	3,320,387	4,031,727
営業外収益		
受取利息	1,101	1,831
受取配当金	228	245
為替差益	-	18,482
受取手数料	3,340	1,209
その他	1,068	3,428
営業外収益合計	5,738	25,197
営業外費用		
支払利息	183	1,198
為替差損	1,506	-
特別退職金	-	33,600
その他	37	9,415
営業外費用合計	1,727	44,213
経常利益	3,324,398	4,012,711
特別利益		
固定資産売却益	1,148	2,004
特別利益合計	1,148	2,004
特別損失		
固定資産除売却損	6,302	103
特別損失合計	6,302	103
税引前中間純利益	3,319,244	4,014,612
法人税、住民税及び事業税	1,088,430	1,308,221
法人税等調整額	△32,257	△40,798
法人税等合計	1,056,172	1,267,422
中間純利益	2,263,071	2,747,190

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	3,319,244	4,014,612
減価償却費	199,952	263,239
貸倒引当金の増減額(△は減少)	103	128
退職給付引当金の増減額(△は減少)	37,108	41,582
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	8,234	222
受取利息及び受取配当金	△1,329	△2,076
為替差損益(△は益)	182	385
支払利息	183	1,198
固定資産除売却損益(△は益)	5,154	△1,901
売上債権の増減額(△は増加)	△940,844	△983,177
棚卸資産の増減額(△は増加)	476,168	△87,106
仕入債務の増減額(△は減少)	△187,043	△277,807
前払費用の増減額(△は増加)	134,348	108,993
未払金の増減額(△は減少)	122,339	△61,908
未払費用の増減額(△は減少)	116,608	10,328
契約負債の増減額(△は減少)	46,148	51,187
その他	83,183	△105,515
小計	3,419,744	2,972,386
利息及び配当金の受取額	1,329	1,001
利息の支払額	△183	△123
法人税等の支払額	△866,754	△868,013
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,554,135	2,105,250
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△947,425	△1,086,280
有形固定資産の売却による収入	4,112	3,182
無形固定資産の取得による支出	△26,487	△31,983
貸付けによる支出	△70,510	△271,091
貸付金の回収による収入	60	-
敷金及び保証金の差入による支出	△18,655	△26,719
敷金及び保証金の回収による収入	584	1,063
建設協力金の支払による支出	-	△33,330
その他	9,456	18,806
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,048,865	△1,426,352
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△24,000	△24,000
自己株式の取得による支出	△988	△235
配当金の支払額	△1,173,047	△1,372,005
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,198,036	△1,396,241
現金及び現金同等物に係る換算差額	△182	△385
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	307,051	△717,728
現金及び現金同等物の期首残高	3,573,825	5,137,452
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,880,876	4,419,723

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(キャッシュフローに関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

キーパーLABO運営事業(以下、当事業という。)の拡大に伴い、当事業の実態をより適切に表示するため、当中間会計期間より、従来「販売費及び一般管理費」に含めていた当事業の人件費・経費の一部を「売上原価」として計上しております。この表示方法の変更を反映させるため、前中間会計期間の損益計算書の組替を行っております。

この結果、前中間会計期間の損益計算書において「販売費及び一般管理費」に表示していた2,927百万円を「売上原価」に組み替えております。

(セグメント情報等)

前中間会計期間(自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	中間損益計算書 計上額
	キーパー製品等 関連事業	キーパーLABO 運営事業	計		
売上高					
札幌営業所	209,842	—	209,842	—	209,842
仙台営業所	512,562	—	512,562	—	512,562
東京営業所	965,716	—	965,716	—	965,716
横浜営業所	468,204	—	468,204	—	468,204
名古屋営業所	1,021,811	—	1,021,811	—	1,021,811
大阪営業所	546,572	—	546,572	—	546,572
広島営業所	485,102	—	485,102	—	485,102
福岡営業所	630,522	—	630,522	—	630,522
東日本	—	2,991,098	2,991,098	—	2,991,098
西日本	—	2,871,005	2,871,005	—	2,871,005
顧客との契約から生 じる収益	4,840,334	5,862,103	10,702,438	—	10,702,438
外部顧客への売上高	4,840,334	5,862,103	10,702,438	—	10,702,438
セグメント間の内部 売上高又は振替高	203,440	—	203,440	△203,440	—
計	5,043,774	5,862,103	10,905,878	△203,440	10,702,438
セグメント利益	1,946,277	1,374,110	3,320,387	—	3,320,387

(注) セグメント間の内部売上高は、キーパー製品等関連事業から、キーパーLABO運営事業に対するものです。

当中間会計期間(自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	中間損益計算書 計上額
	キーパー製品等 関連事業	キーパーLABO 運営事業	計		
売上高					
札幌営業所	271,963	—	271,963	—	271,963
仙台営業所	564,005	—	564,005	—	564,005
東京営業所	1,177,759	—	1,177,759	—	1,177,759
横浜営業所	526,278	—	526,278	—	526,278
名古屋営業所	1,142,248	—	1,142,248	—	1,142,248
大阪営業所	579,015	—	579,015	—	579,015
広島営業所	518,729	—	518,729	—	518,729
福岡営業所	703,392	—	703,392	—	703,392
東日本	—	3,316,616	3,316,616	—	3,316,616
西日本	—	3,298,521	3,298,521	—	3,298,521
顧客との契約から生 じる収益	5,483,393	6,615,138	12,098,531	—	12,098,531
外部顧客への売上高	5,483,393	6,615,138	12,098,531	—	12,098,531
セグメント間の内部 売上高又は振替高	277,458	—	277,458	△277,458	—
計	5,760,851	6,615,138	12,375,989	△277,458	12,098,531
セグメント利益	2,350,245	1,681,482	4,031,727	—	4,031,727

(注1) セグメント間の内部売上高は、キーパー製品等関連事業から、キーパーLABO運営事業に対するものです。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

前事業年度末より、各セグメント損益の業績をより適切に反映させるため、セグメント間の内部売上高又は振替高を市場価格等を勘案して決定する方法からセグメント別の原価に基づく方法に変更するとともに、全社費用の配賦基準の見直し等を行っております。なお、前中間会計期間のセグメント情報については、変更後の方法により作成したものを記載しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。